

ボランティア ニュース

大野ボランティア連絡協議会「点訳グループてのひら」 宮島学園（小学校3年生）に点字の大切さを伝えてきました♪

大野ボランティア連絡協議会は、廿日市の小・中学生の福祉教育学習に協力しています！

9月10日(土)、宮島学園3年生10人に、点訳グループてのひらメンバーが、点字学習をとおして情報を点字の必要性について話し、またボランティアを始めたきっかけなどを伝えました。

児童は事前学習をしていたため、点字の学習を楽しみにしていた様子。授業が始まると、ボランティアの話に興味津々でした！

点訳された広報はつかいちは、漢字が使われていないため約8倍の厚さ。子どもたちは驚いていました！

また「お家にある点字」には、お好みソースに「ソース」と点字があると知り、「それにも点字あるん〜！」とビックリ！

点字板で打ち出した点字名刺を興味深そうに触って、点字で書いた名前の横にえんぴつで自分の名前を書いていく子もいました♪
ぜひ皆さんも自宅にある点字、見つけてみてください！



市内の視覚に障がいをお持ちの人に情報を届けるためボランティア活動しています！

ボランティア活動者に聞いてみました

ボランティアを始めたきっかけは何ですか？
*点訳グループてのひら

M・Tさんの場合*

3年前に仕事をやめ、時間があつたMさん。ふと目に留まったのが、広報はつかいちに書いてあった「点訳奉仕員養成講座（文字を点字に書き換え、点字物を届けるボランティア）」。
表立ったことは苦手なMでしたが、これなら自分でも出来るかも」と思い受講しました。

「仕事をやめ、何もない毎日を過ごすことなく、日々楽しく活動しています。家族にも、このボランティア活動は趣味だと伝えてるので、快く応援してくれています。点字のボランティアをすることで、視覚障がい者のことを知ることができ、困難なことを理解することが出来ます。また、グループでの活動を通して仲間もできて、日本語の勉強にもなるし、廿日市市や大野地域の情報を得ることが出来るので楽しいんです」とMさん。
Mさんは、現在も点訳グループてのひらで、視覚に障がいのある人に情報を届けるボランティアを、楽しんで活動されています。

点訳グループ「てのひら」紹介

- * 定例会 第1・2木曜日
- * 場所 大野支所 3階
- * お問い合わせ 社協大野事務所まで

社協大野事務所では、「点訳奉仕員養成講座」を行う予定です。ぜひ受講されてみてはいかがでしょうか！

大野事務所まで、お気軽にご連絡ください♡



災害に備えて～コロナ禍を踏まえた災害ボランティアセンターの在り方～

令和2年度第1回廿日市市被災者生活サポートボラネット推進会議で、「新型コロナウイルス感染予防を踏まえた被災者生活サポートボランティアセンター運営の考え方」を参加者で確認しました。

基本的な考え方として「支援者が感染を広げないこと」「支援者の安全を確保すること」を順守し、被災者の命と暮らし、尊厳を守るための支援を進めます。

また、従来のセンター運営の方法にとらわれず、ボランティアの受付や活動調整をインターネット等のツールを活用したり、支援活動場所で集合解散する等、密集しない移動方法を検討したりするなど、感染拡大防止に配慮したセンター運営が必要となります。

今後も推進会議では、非常時に迅速な支援体制をとることができるよう、関係機関・団体と情報を共有しながら連携をしていきます。